

骨髓ドナー登録の推進と適切な支援策の検討 を

質問者 齋藤 成 宏

白血病は「血液のがん」と言われ、誰にでも発症の可能性を持つ病気である。万一、白血病になったときに助けとなるのが、骨髓提供者（ドナー）の存在である。現在、骨髓バンク登録が関係機関により進められている。

そこで、町としてもドナー登録推進や普及啓発活動、適切な支援策を含む検討を始めてはどうか。